

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	5-3-2		事業名	自転車利用適正化対策事業			
担当	市)総合交通計画部交通計画課 岩木 211-2275						
全体計画							
事業内容	近年増加が著しい自転車利用について、交通手段としてのあり方や交通機関との連携等について市民も交えた議論を行い、その中で自転車の走行空間、駐車対策、利用ルール・マナー等の考え方を総括した、(仮称)自転車利用総合計画の策定を行う。			<年度別の事業内容>			
				【平成19年度】 (仮称)自転車利用総合計画策定に向けた調査・検討 【平成20年度】 (仮称)自転車利用総合計画の素案作成 【平成21年度】 (仮称)自転車利用総合計画策定 【平成22年度】 アクションプログラム策定			
事業内容・量・場所・規模・件数等	平成19年度事業内容(決算)			平成20年度事業内容(予算)			
	自転車利用に関する市政世論調査の実施 自転車利用に係る現況調査の実施 庁内係長WGによる検討実施 附置義務条例の他都市事例調査			学識経験者、関係行政機関、市民などで構成された外部委員会による検討 素案作成			
達成目標の状況							
項目		18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (予定)	21年度末 (予定)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)
(仮称)自転車利用総合計画の策定		調査、検討	調査、検討	素案策定	策定	/	策定 (21年度)
駐輪場附置義務条例の適用対象施設拡大		調査等	調査等	素案	条例改正	/	条例改正 (21年度)
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
市民との連携、市民参加 平成19年度は、市政世論調査を実施した。 平成20年度は、学識経験者や市民などで構成される(仮称)自転車のあり方検討委員会の中で検討を行い、(仮称)自転車利用総合計画の素案を策定する。 企業等との連携・協働 [資金協力] [人材協力] [情報協力] [その他の協力] 市民・企業等が参加しやすい環境づくり							

## 平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2) (単位:千円)

計画体系コード		5-3-2			事業名	自転車利用適正化対策事業						
評価(成果)						課題						
平成19年度は、計画策定に向け、市政世論調査で自転車に対する意識調査などを行い、計画策定に向け基礎的な情報を収集、検討を行った。						自転車利用の位置づけや、公共として行うべき整備の水準など、札幌市としての自転車に対する方針を明確化する必要があるが、市民の自転車利用にはさまざまな意見、ニーズがあるほか、少子高齢化による今後の社会構造の変化など、さまざまな要因を踏まえながら、計画を策定することが、今後の課題である。						
今後の事業の予定・方向												
(仮称)自転車利用総合計画をの策定のうえ、自転車走行空間や駐輪場の確保、自転車走行マナーなどについてのアクションプランを検討し、実施する。												
事業費の推移												
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計						
計画	事業費	7,000	8,000	8,000	7,000	30,000						
	財源内訳	国・道支出金	0	0	0	0	0					
		市債	0	0	0	0	0					
		その他	0	0	0	0	0					
		一般財源	7,000	8,000	8,000	7,000	30,000					
予算	事業費	7,000	7,000	-	-	14,000						
	財源内訳	国・道支出金	0	0			0					
		市債	0	0			0					
		その他	0	0			0					
		一般財源	7,000	7,000			14,000					
実績	事業費	6,557	-	-	-	6,557						
	財源内訳	国・道支出金	0				0					
		市債	0				0					
		その他	0				0					
		一般財源	6,557				6,557					
事業費の進捗率		(19年度実績事業費 + 20年度予算事業費) / (計画事業費)									45.2%	
計画との差異(予算・事業内容・規模・時期等)												
(全体)												
[19年度]												
[20年度]												